

# ひろば大代

NO.444

大代まちづくり  
センター

H28.7.23

## 第25回関西高山会に参加して

関西高山会（植松）坂井 晋

6月12日の大阪リバーサイドホテルでの関西高山会で、久しぶりに見るふるさと大江高山の神楽に大変感動しました。

笛と鉦、太鼓での連続的なリズムが鼓動のように全身に響いてきました。テーブルを廻って来たおそらく少年と思われる演者に小声で聞いてみました。「何年生？」「6年生です。」

大きな面を着けていてその表情を直接見ることはできませんが、おそらく汗いっぱい息もはずみ高揚した面持ちであったことでしょう。思わず胸が熱くなり「がんばりや！」と声をかけてしまいました。

後継者不足を耳にする昨今ですが、古来の神話にもとづく石見神楽、末長

く継承していつてほしいものです。また当日は124名の方々が参加されたとの事。大代には毎年帰っているという方、また一度も帰っていないという方もおられるでしょう。ふるさとを同じくする皆が一堂に会し、昔話に花を咲かせ、エントランスで神楽団をお送りする時の皆のすがすがしい表情に、ふるさとの深いきずなのようなものを感じたものです。



中学校卒業まですごした大代での少年時代を思い起こせば、あれやこれやと悪ふざけばかりが目につかびます。いまとなれば楽しい思い出ですが、いつも町の皆さんの大きな包容力とでもいうのでしょうか、温かい気持ちにつつまれ事なきを得ていたように思います。いわゆる古希の歳を迎える私も日々ふところ深く、おおらかに過ごしていききたいものです。

## 関西高山会神楽公演を終えて

大江高山神楽社中 佐々木龍聖

私が関西高山会へ来させて頂くのは今年で二度目でした。一度目はまだ神楽を始めておらず、弟の付き添い且つ裏方の手伝いでしたが、今年は初めて舞を舞わせて頂くことが出来、大変嬉しく思います。

自分の舞、そして大江高山神楽社中の舞を見ていただけたのではないかと思います。

私は神楽を舞うのが好きです。面をつけていると、普段の自分を忘れる事ができ、役に入り込めると感じています。



ですが、気分が高揚するあまり、基本を忘れてしまうことも多々あります。以前よりは、少しは上達したとは思いますが、本当のところ良く分かりません。

今回の公演のように、お客様が大勢でおられる程、緊張感が増します。よりよい舞をもっとお客様に見て頂きたいと思いい注意を払って、丁寧に舞っているつもりです。

この公演が、私にとって良き経験、良き刺激となりました。

又いつか、御縁があつて舞わせて頂く機会がありましたら、以前よりもっ

と良い舞を見て頂ける様に、より一層頑張る所存です。

最後になりましたが、今回このような機会を与えてくださった関西高山会の皆様、役をくださった社中の皆様、誠にありがとうございました、

### 関西高山会総会に出席して

椿 権原敏子

6月12日、関西高山会の総会に何年振りかに出席させて頂きました。とても楽しみにしており、前日から大江高山社中の方々の行かれるバスに便乗させてもらい、宿泊地大阪リバーサイドホテルへ出発です。道中も楽しく行かせてもらいお世話になりました。

総会の会場もこのホテルであり、当日の朝、総会の始まる前、大代町から持参した大田名物や大代町で作られた加工品を並べました。関西、関東の高山会員の方々に沢山買って頂き完売となりました。ありがとうございました。

総会が終わって、いよいよ懇親会です。大江高山神楽社中の出演です。頼政・恵比寿・大蛇の演目でした。

頼政では、サルが会場のテーブルの方へ降りて来てアメの振る舞いです。私ももらい、嬉しくて隣の子供さんに分けてあげました。

恵比寿もこれまで何回も見たことがあります。子供さんが舞われ、お面は恵比寿顔で変わらないけれど首の動き、手のしぐさでとても表情が愛らしく、見入ってしまいました。皆さんも、もらい笑顔です。

舞台の奥行きが少し狭いということ、大蛇が何頭出るとかと思いましたが5頭、6頭まだまだ8頭全部出て、それだけでも感激でカメラに収めました。

神楽が終わると全員舞台上に並ばれ、皆さんの表情は一生懸命舞われた顔であり、見ている人の心も存分に楽しませてもらい：会場は大盛況でした。

その後、会場に居た方々との交流で神楽の衣装を身に付けさせてもらった、大蛇と記念撮影を撮ったりで、普段できない事を、この場でさせてもらえて、良い演出をされたなと思いました。

最後は、田中公道さんのリードで「ふるさと♪」を歌い閉会となりました。

関西、関東の高山会の皆さんに玄關で見送って頂き、無事大田へ帰る事ができました。お世話を頂きました役員の方々にとても感謝でお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 名刺不要の身になつて



東京石見高山会

松野 広 78歳

職場を離れて早や3年、健康第一に散歩を心掛けています。そうすると今まであまり気にもしなかった家々の菜園が季節の移り変わりを如実に写してくれます。

えんどうの花、夏豆の膨らみ、それにつづくなすびの花、きゅうりの蔓、青いトマトの匂いと苗物が見る見る背丈を伸ばし、もっとおじさんも元氣を出してと、まんまん（とうもろこし）のひげも風になびかせながら応援の聲を出しているようです。

昔を思えば、春はズバの白い穂先を口でしごき、スイ葉の皮をむいて顔をゆがめ、イタドリは塩をつけてかじり、秋になると渋柿の皮をむしろ干しにし

て、冬のおやつがわりによく食べたものです。吊るし柿やあめ色の干芋は贅沢中のぜいたくでした。私の思い出話はどうしても貧乏物語になってしまいがめんなさい。それではこの一年、公民館俳句教室での作品の一部、句吟ならず苦吟をご笑覧下さい。

- 片言の あんよが目指す 福寿草
- 陰膳を 背にして祝う 今朝の春
- 校門の 別れのマフラー 春の風
- 乾杯の 音で乱れる 花吹雪
- 暁の 山河裂きたる 岩燕
- 白き腕 いらっしやいませと クールビズ
- 夏川を 渡る瀬音や 魚の影
- 腰に差す 団扇踊るや 太鼓の音
- 今日の老 癒やす一献 土瓶蒸し
- 落鮎の 絵皿と紛う 山の膳
- 見得を切る 小紋薫や 菊人形
- 終い湯の 柚子を絞りにて 妻の肩



### 第31回都市とふるさとを

### 結ぶ交流会の御案内

大代高山会ではお盆に帰省される皆様をお迎えし、第31回「都市とふるさとを結ぶ交流会」を左記のとおり盛大に開催致します。

記

日程 8月13日(土曜日)

第一部 そば打ち体験

地域の子供と帰省者の子供  
小・中学生を対象

主催 大代地区社協

時間 10:00～13:00

場所 きずな館

内容 こね・延し・切り・茹で・試食

定員 20名

参加料 無料

申込 大代まちづくりセンターへ

8月5日までに申し込み下さい。

TEL (0854) 8512204

第二部 郷土芸能

時間 18:00～22:00

場所 旧大代小学校

- 1、大江高山神楽社中
- 2、盆踊り(豪華景品)

お誘い合わせ是非お出かけ下さい。

## ■社協だより さくらんぼ教室の日

大代地区社協 高村 貢



6月21日、梅雨特有の日和であったが、雨は降らず安堵する。恒例の仁摩町天河内の「びしゃもんさん」への入湯に出発する。

参加者は9名。当日都合のつかない方もあったが、また機会があるので参加して頂きたいと思っている。

大森町を通過し、温泉へ到着。一息ついて、ゆつくりと入浴する。その後、水分補給を忘れずに行った。

揃って昼食を摂り、あとはそれぞれ、午睡・テレビ鑑賞・入浴・会話等でごす。

庭に紫陽花の花が鮮やかに咲き、心身共に癒されたと感じた。

お互いに支え合う大切さに気付かされた夏至の一日、明日への力となればと思う。

又、希望あれば聞かせていただき、今後の「さくらんぼ教室」に活かすことが出来たらと考えている。

## ||十七夜||

### かけ声が響いた夏祭り

17日(日)曇り空の中、ご神体を載せた御神輿が厳かに八幡宮を出発し、「わっしょい、わっしょい」と掛け声も大きく町内を練り歩きました。



## ||俳句||

### あすなる句会

柿田 横手いちえ

それぞれに 墓参の人持つ 百日草  
夕立や 走り去る人 二、三人

椿 花田時子

暑き日の 続きておりし 昨日今日

色多く 百日草の 見事咲く

下市 今田文子

遠三瓶 眺める丘に 月見草

鬼岩を 見て紫陽花の 道を行く

川上 岩田律枝

野良帰り 汗をひと拭き 厨事

苗育て ようやく蕾に 百日草

椿 柿丸寿枝

七夕や 小さき願いの 糸結ぶ

百日草 病気談義の 切りもなし

## 8月行事予定



\* \* \* \* \*  
▼13日(土) 都市とふるさとを 結ぶ交流会

▼16日(火) さくらんぼ教室

▼23日(火) 連合自治会

## ◎大代地区社協だより

下市 永井利樹様から

下飯谷 徳永英順様から

山田 畑 誠様から

四日市 竹島 修様から

それぞれ香典返しにかえ御厚志を頂き、厚くお礼申し上げます。